

Glassix ファイバー ポスト

再使用禁止

【禁忌・禁止】

- ・歯根が歯周病、または他の状態により、しっかりと固定できない場合は使用しないこと。
- ・歯肉縁の円周部分に最低1mm以上の高さの歯質を確保すること。
- ・感染または破損の恐れがあるため、ポストは再使用しないこと。

【形状、構造及び原理等】

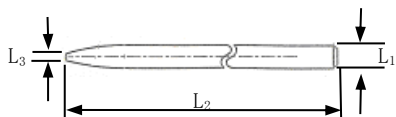
本品の構成品は下記のとおりである。

なお、前処理用品は市販のリーマーを用いる。

1) 構成

構成品		数量
本品	ポスト(φ1.00mm)	6個
	ポスト(φ1.20mm)	6個
	ポスト(φ1.35mm)	6個
	ポスト(φ1.50mm)	6個

2) 寸法



	L1	L2	L3
ポスト(φ1.00mm)	1.00	20.0	0.3
ポスト(φ1.20mm)	1.20	20.0	0.3
ポスト(φ1.35mm)	1.35	20.0	0.3
ポスト(φ1.50mm)	1.50	20.0	0.3

単位: mm (許容誤差: ±5%)

3) 原理

維持又は補強手段として、形成後の根管に挿入する。

4) 組成

	成分
ポスト	二酸化ケイ素、酸化アルミニウム、酸化ホウ素、酸化カルシウム、ビスフェノールA型エポキシ樹脂等

【使用目的又は効果】

歯科修復物、補綴物等の維持又は補強用に、支台築造用のポストとして使用するものである。

【使用方法等】

＜使用前の準備＞

- 1) 本品は未滅菌製品であるため、その使用に際しては下記条件に基づき、消毒を施し使用する。

ポスト消毒条件	
消毒剤	エタノール溶液等
消毒方法	上記消毒剤を綿に浸し軽く払拭する。

- 2) 本品は曲げて使用しないため、湾曲部分には対応せず、拡大部分のみに施し使用する。
本品は歯肉縁から最低1mm以上の高さの歯質が確保できる歯牙に適用可能である。なお、ポストは単回使用のため再使用はしないこと。

＜使用中の操作＞

- 1) 通常の歯内処置を行い、支台築造の準備をする。(充填材により根管の充填を行う)

- 2) ゲイツドリル等を使用し、根管拡大を行う。(不要な根管充填材の除去等)
- 3) 適用するポスト及びそれに対応する径のリーマーを選択する。
- 4) ポストに対しては消毒を行い、リーマーに対しては適切な方法で滅菌を施す。
- 5) 選択したリーマーにより、回転速度を適切に定め根管形成を行う。
- 6) 予めレントゲン写真等でポストの長さを計測し、ポスト余剰分の切断時のマークとして市販のシリコンストッパー等を装着し、ポストの試適を行う。
- 7) 試適後、口腔内からポストを取り出し、市販のカッティングディスク等により、6)におけるマークを目安としてポストの余剰分の切断を行う。
- 8) ポストの長さを調整した後、市販の接着性プライマーを用い、取扱説明書に従ってポスト周囲にシラン処理を施す。
- 9) 切断したポストとともに市販のコンポジットレジンセメントを根管内に挿入する。
- 10) 挿入したポスト上に市販の支台築造用レジン(例えば、デュアルキュア用コンポジットレジン等)を築盛し、コア(支台築造部)を形成する。なお、レジンの硬化が光重合の場合には、取扱説明書に従い十分な光照射を舌側、頬側、咬合面等に対して行う。

＜使用方法等に関する使用上の注意＞

- 1) リーマー及びハンドピースを使用する際には、適切な速度で使い、慎重にドリリングを行うこと。
- 2) 本品の使用に際しては、適切な防湿措置を施すこと。
- 3) 光照射を行う際には、必ず照射光の直視を避け、保護眼鏡等を着用すること。
- 4) 本品を誤飲させないように注意すること。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- 1) 本品の使用により、発疹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診断を受けさせること。
- 2) 本品との接触による過敏症状の予防等のため、使用に際しては手袋の着用等の適切な防護措置を行うこと。

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞

- 1) 水ぬれに注意し、直射日光及び高温多湿を避け、常温で保管すること。
- 2) 水分、腐食性薬剤及びその蒸気の曝露を避けて、外圧(物理的負荷)及び汚染を受けないように保管すること。
- 3) 歯科医療従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

＜製造販売業者＞

 **SmartPractice**
株式会社スマートプラクティスジャパン
TEL 0120-415-418

＜製造業者＞

HARALD NORDIN SA
国名: スイス